

# 曲目解説

研究熱心な各校顧問の選曲により、毎回充実したプログラムで注目されているジョイントコンサート。今回も注目作が満載の情熱的なプログラムでお送りします。解説も頑張って書きます。お楽しみに！

## 各校演奏

### ● J-POP Stage Vol. 10 - スタジオジブリ名曲集 - 山里佐和子(編曲)

*J-POP Stage Vol.10*

*Arr.Sawako Yamazato (日本)*

宮崎駿監督が手掛けた、スタジオジブリの長編アニメ映画11作品より、主題歌や主要BGMなど12曲のサビ部分をメドレーにした作品。80年代の初期映画から2013年公開「風立ちぬ」まで、いずれも名曲揃い。映画を観たことがない方でも十分お楽しみ頂けるが、我こそはジブリ通という方は、全部の映画タイトルを言い当てる事が出来るだろうか。ぜひ挑戦してみよう。

### ●指輪物語 (抜粋版) ヨハン・デメイ(ラヴェンダー編曲)

*The Lord of the Rings (Excerpt)*

*Johan de Meij (b.1953:オランダ)*

トールキンの長編小説「指輪物語」は、魔法使いや妖精が国を築き、戦いを繰り広げる架空の世界において、全てを支配する強大な魔力を持った指輪をめぐる物語。オランダの作曲家デメイはこの小説に着想を得て、1988年に全5楽章、演奏時間40分の壮大な吹奏楽交響曲を完成させた。今回演奏するのはラヴェンダー編曲の抜粋版で、原曲の雰囲気約9分で味わえる。前半部は原曲の第1楽章「ガンダルフ」より、この物語の主人公、ホビット族のフロドの旅を見守る魔法使いガンダルフと愛馬の様子。中間部は旅路の途中の出来事が描かれ、後半部は原曲の第5楽章「ホビットたち」より、陽気なホビット族が描かれている。2001年出版。

### ●風姿花伝 ～秘すれば花～ 福島弘和

*Fushikaden - The Flowering Spirit -*

*Hirokazu Fukushima (b.1971:日本)*

室町時代の観阿弥・世阿弥親子は、能楽を大成させたことで知られる。15世紀初めに世阿弥は、亡父・観阿弥から伝授された教えを基に、世阿弥自身の解釈を加えた能楽の伝書を記した。これが「風姿花伝」である。日本最古の能楽論、あるいは演劇論とされる。そのなかの一節に「秘すれば花」が登場する。芸道の秘伝は、内容は大したものではなくても、意外性や珍しさで観客に感動を生む秘策となる。つまり「秘すること自体が、芸に最大の花を生む」といった意味である。現在は広く知られた「風姿花伝」であるが、1909年に紹介されるまで、存在自体秘密にされた秘伝書であった。福島弘和さんは多くの吹奏楽曲を手掛ける人気作曲家である。本作ではタイトルの印象から、「風・花」、「能を舞う」を表現した曲となっている。2008年出版。

### ●スピリテッド・アウェイ 「千と千尋の神隠し」より 久石譲・木村弓(編曲:森田一浩)

*Spirited Away*

*Joe Hisaishi & Yumi Kimura*

2001年夏に公開された、スタジオジブリ制作の長編アニメ映画「千と千尋の神隠し」から、さまざまなシーンの音楽をセレクトして作られた曲である。使用されている曲は、①カオナシ、②あの夏へ、③底なし穴、④湯婆婆狂乱、⑤いつも何度でも、⑥ふたたび、以上6曲である。美しいメロディにより情感豊かな世界が見事に表現された名曲である。2010年出版。

## ●たなばた

*The Seventh Night of July*

酒井 格

*Itaru Sakai ( b.1970:日本 )*

酒井格さんは吹奏楽でも有名な作曲家。本作は酒井さんが作曲を本格的に学ぶ前、高校3年生のときに独学で書き上げた最初の吹奏楽曲。オランダのDe Haske(デハスケ)社から出版されたが、海外ではタイトルの「*The Seventh Night of July*」とは何のことだ?、となるため、スコア解説には日本の七夕(たなばた)の伝説について触れられている。ところが、実際には七夕の情景を描写した曲ではないため、情景を思い浮かべるより、純粹に音楽としてお楽しみいただければと思う。中間部のメロディは印象的で、学生にも人気が高い曲。1988年作曲。

## ●春の猟犬

*The Hounds of Spring*

アルフレッド・リード

*Alfred Reed (1921-2005:アメリカ)*

吹奏楽界の巨匠、リード博士が他界したのは2005年。生涯で多くの優れた吹奏楽曲を作曲、近代吹奏楽の発展への貢献は計り知れない。本作は19世紀イギリスの詩人スウィンバーンの詩劇『カリュドンのアタランタ』の合唱部の一節に感銘を受けたリードが、これを吹奏楽で表現したものである。その合唱の冒頭に「春の猟犬たちが、冬の轍(わだち)の上を行く季節になると」と、春の訪れを目前に控え、雪解けの中を、猟犬たちが元気に走る様子が詠われており、これが本作のタイトルとなった。別の解説によれば、本作「春の猟犬」には、先程の詩劇のテーマである「若さ」と「愛」という2つの要素が盛り込まれているとのこと。曲全体の明るく軽やかな曲調と、中間部の美しいメロディの組み合わせにも注目したい。1980年作曲。

## ●MOVE ON (ムーヴ・オン)

*Move On*

石川一宏・内藤慎也(編曲:真島俊夫)

*Kazuhiro Ishikawa & Shinya Naitou*

テレビ朝日「報道ステーション」のスポーツコーナーで、2012年より使われている曲。タイトルには「前に進む」、「新しく何かを始める」といった意味があり、作曲当時に起きた東日本大震災からの復興を目指す日本への思いも込められている。吹奏楽作品の作編曲で数多くの名曲を生み出した故・真島俊夫氏によるアグレッシブなアレンジで、演奏する側も聴く側も熱く盛り上がる最高の1曲と言えよう。ノリノリのサウンドをお楽しみ下さい!。多数のポップス曲のレパートリーを持つ、New Sounds in BRASS(NSB)シリーズ第43集。2013年出版。

あめのみなかぬしのかみ

## ●天之御中主神 - 吹奏楽のための神話 -

*Amenominakanushi - Father of the Universe*

片岡寛晶

*Hiroaki Kataoka ( b.1983:日本 )*

片岡寛晶さんは管弦楽、吹奏楽、音楽教育などの活動の傍ら作編曲も行っており、これらの作品は各地で演奏されている。大学は打楽器科の出身で、打楽器パートを効果的に活用した作風も特徴である。本作のタイトル「天之御中主神」(アマノミナカヌシノカミ)は、日本神話の天地開闢において登場する神の名前である。「古事記」の中では神々の中で最初に登場する神とのこと。本作では、全面的に日本調をアピールし、日本神話が吹奏楽で表現されている。2017年作曲。

### ■ドリーム・クルーズ

八木澤教司

ジョイントコンサート第20回記念作品。第20回の参加校7校(国分、市川西、松戸矢切、松戸秋山、松戸六実、船橋西、白井)の共同委嘱作です。学校統合等で失われた学校名もありますが、この曲の中に当時の思い出として、今も息づいています。オランダのデ・ハスケ社より出版されました。